

It started with
Jakuchu

開館 20 周年記念展 I

細見コレクションの江戸絵画

はじまりは、
伊藤若冲

平成30年

1月3日(水) - 2月25日(日)

主催 細見美術館 京都新聞

休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間 午前10時~午後6時(入館は、午後5時30分まで)

入館料 一般1,300円(1,200円) 学生1,000円(900円)

※()内は20名以上の団体料金

チケット販売 細見美術館 京都新聞チケットセンター

セブンチケット ローソンチケット(Lコード:59300)

会場 細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>

細見美術館

20TH.
ホノニ

伊藤若冲 雪中雄鶏図

ご優待

一般 / 1,300円 → 1,200円
学生 / 1,000円 → 900円

本紙にて4名様までご利用頂けます。



伊藤若冲(1716~1800)は江戸中期の京都画壇において、類稀なる独創的な作風で新たな時代を切り開きました。一方、王朝の仏画などに傾倒していた細見コレクションが、江戸時代絵画に覚醒する扉を開いたのも若冲でした。

開館20周年記念展第1弾は、コレクションの大きな柱となった若冲の名品を中心に展示します。初期の優品「雪中雄鶏図」やユニークな水墨画の数々など、若冲ワールドの多彩な魅力が一堂に。またこの機会に琳派や文人画、風俗画、物語絵など、館蔵の江戸絵画もずらり。〈細見〉で若冲を見初め、日本美術に開眼したあなたに贈る美の競演、若冲や宗達が皆様との新たな出会いをお待ちしております。

若冲と江戸絵画の世界を〈細見〉で満喫!



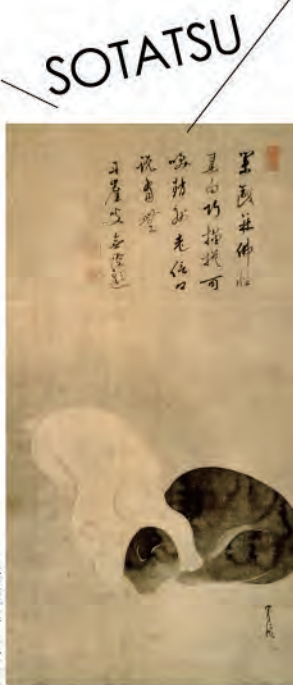
伊藤若冲 糸瓜群虫図(部分)

開館20周年記念展Ⅰ 細見コレクションの江戸絵画

20TH
ホノミ

はじまりは、伊藤若冲

平成30年 1月3日(水) - 2月25日(日)



依屋宗達 双犬図



伊藤若冲 瓢箪・牡丹図

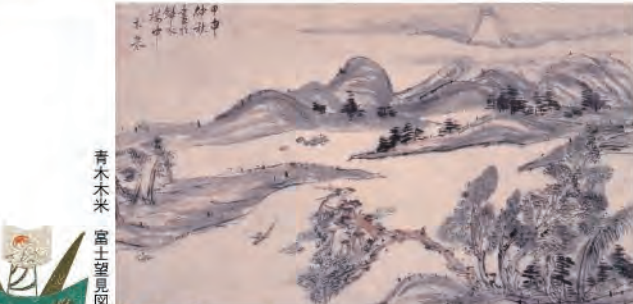


- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。



会期中のイベント(友の会限定)

- ※事前申込制・有料
詳細はホームページをご覧ください。
- ・モーニングギャラリートークと 信行寺(非公開寺院)見学
1月18日(木) 午前9時30分～
講師:細見良行(当館館長)
 - ・ギャラリーナイトツアー
2月2日(金) 午後5時30分～
講師:岡田秀之氏
(嵯峨嵐山日本美術研究所学芸課長)
:細見良行(当館館長)



青木木米 富士望見図



IKKEI

- 1.伊藤若冲 宝珠に小槌図
 - 2.浮田一憲 やすらい祭・牛祭図屏風
 - 3.伊藤若冲 仔犬に帯図
- ※すべて部分

当日入会もOK

NEWS 細見美術館 友の会

フレンドシップメンバー 年会費 ¥3,000

何度でも展覧会でご観覧いただけるフリーパスシステム(1年間)

